

TSK熱風発生機

快適な操作性と高品質

産業機器は操作が簡単にでき、高い品質と耐久性が要求されます。

TSK電気式熱風発生機は、50数年間の製造経験と保証期間3年の販売方式で信頼いただいております。

更に今回は機器機能の充実を図りました。

必要情報が一目でわかる表示、高い視認性の操作パネルとなりました。

New



- ①簡単操作、見やすい表示、使い勝手の良いサイズ。
- ②省エネ運転に寄与する送風機回転数 [Hz] の表示。
- ③モードスイッチ (運転条件変更) を追加しました。
- ④CRフィルタ、デミフィルタが簡単に装着できる構造。

高効率 (実用新案特許、意匠取得済)

絶縁特性の優れたコージライト耐熱材料を、圧力損失の非常に少ないハニカムタイプに成形し、その中心に電熱線を組み込み、送風気体がコイル状に巻いた電熱線の内側および外側を均一に通過することができるため電熱線の熱が100%近く熱風になり、理想の熱風発生用ヒータです。

熱源には電気を使用していますので、吐出する熱風の湿度は0%に近く、また完全な熱風ですので、そのまま食品、薬品等の乾燥に使用できます。

省エネ設計

省エネのために、熱風を再利用できるように全機種に熱風循環仕様の耐熱送風機を標準搭載しています。電気料金の50~80%節約が可能です。

注意 熱風循環する場合、送風機の吸入気体にトルエン、シンナー、多量の水蒸気が含まれている場合は、循環式ではご使用できませんので、「TSK熱交換器HEXシリーズ」をご使用ください。もしくは、吸入気体のガス濃度を、爆発下限濃度の $1/50 \sim 1/100$ 以下になるまで空気で希釈してご使用ください。

インバータ搭載

インバータの採用により送風機の風量使用限界がなくなり、風量使用範囲を大幅に広げることが可能となりました。さらに50Hz地区においても電源仕様に影響されず送風機の性能を最高に発揮させ、風量調節も無段階で調節ができます。

また、風量調節時においてダンパ方式に比べ送風機のロスがはるかに少なくなり、効率よく省エネ運転ができます。

耐振性 (設計基準)

振動周波数20~38Hz 周期1min/サイクルにて異常な共振が無く、振動周波数33Hz 振動加速度1G XYZ方向各30minにおいて、試験中及び試験後の動作に異常はありません。

※耐振性試験は製品の質量が50kg以下のものに適用しております。

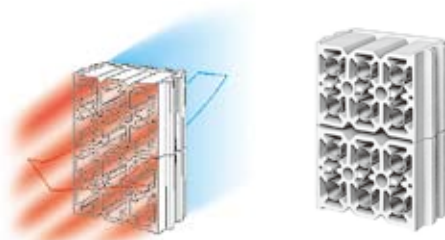
各種の自動機、コンベア、乾燥炉等への組み込みを最大限に配慮した構造です。

(例) 熱風の吐出口と送風機の吸入口の方向変更、外部よりの遠隔運転用端子、外部センサ入力端子、サービス端子 (運転、送風機異常、温度異常、オーバーヒートの信号出力)、タイマ運転、遠隔コントローラ、自動ダンパ駆動回路、デミフィルタ、CRフィルタ、操作パネル保護、異電圧仕様、ヒータ容量の変更。

●多様なユーザーニーズにお応えし、オプション部品を豊富に取り揃えています。

高効率

ハニカム ブロックヒータ (PAT.)



省エネ設計

耐熱送風機 (PAT.)

吸入気体最高温度
230°C

低騒音対策済
(平成5年7月)



熱風循環

●TSK-18は140°C、TSK-121は170°Cの吸入気体最高温度になります。

- ヒータは断線なく半永久的に使用でき、充分な安全対策を施していますので365日昼夜無人連続運転が可能です。
- 電源コードを接続するだけでご使用できます。
- ヒータケースには錆びない耐熱性の高いアルスタ鋼板を使用し、頑丈な構造になっていて、一段と耐久性が向上しました。

※吐出口温度センサ [K] 熱電対に加えて、オーバーヒートセンサ、吐出口温度上限センサ、吸入口温度上限センサの各安全回路用センサにも [K] 熱電対を採用し、より高い安全性を確保しております (業界初)。